



地域とともに

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

Tel 01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→



【令和5年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

地域のお母さんたちとの座談会を実施

令和5年5月15日、科目「子どもの発達と保育」の授業で座談会を実施しました。今回は、『大樹町子育て応援手帳』が発行されたことを受け、その原案をまとめた子育てボランティア団体「ハッピーライフ」の会員の方、冊子の編集を手掛けた長谷川さん、デザインを担当した橋原さんにお越しいただきました。

知らない土地で子育てをする時に感じる孤独感や不安感をなくし、みんなが楽しく子育てできるまちづくりに思いを寄せて、この冊子が出来上がったお話しは、とても心に響きました。

そんな熱い思いを聞いた生徒達からも、素直でしっかりとした感想が述べられ、地域の子育て支援と課題について考えるきっかけとなりました。保育士を目指す生徒、やがては親となる生徒、地域を支える大人になっていく生徒、立場は色々ありますが、今日のお話を胸に留め社会で活躍して欲しいと願います。





地域とともに

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

Tel 01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→

**【令和5年度の指導上の重点目標】**

1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。

2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

大樹町企画商工課と連携した道道の花壇整備

令和5年5月25日(木)、1学年から3学年の生徒で、大樹町生涯学習センター前の道道の花壇整備を行いました。

花壇の土を掘り起こして肥料を入れ、マリーゴールド、サルビア、ベコニアの苗を丁寧に植えました。また、ラベンダーの周りに茂っている雑草を抜ききれいにしました。

学年ごとに和気あいあいと作業に取り組んでいる様子が印象的でした。花が道路一帯に咲き誇るのが今から楽しみです。近くを通る際は、ぜひ花壇の花にも注目してください。本校の新聞放送委員が撮影した写真と、活動に参加した生徒のコメントをご覧ください。

参加した生徒のコメント

「みんなで役割分担をして、きれいに植えることができてよかった。」

「今日植えた苗が元気に育って、大樹町のアピールポイントになってほしい。」

協力していただいた大樹町役場企画商工課の皆様、ありがとうございました。





地域とともに

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

Tel.01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→



【令和5年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

茶道部の活動

令和5年6月6日(火)、本校の茶道部が、今年度も継続して地域の部活動指導員である大樹町の小島洋子さんから、茶道の指導を受けました。

小島さんは、いつも着物で来校され、なかなか着物を見る機会のない生徒にとっては貴重な機会です。作法室には、凜とした緊張感とお茶を嗜む高揚感が漂っておりました。



他校との合同野点(のだて)の活動

令和5年5月26日(金)、高文連十勝支部野点研修会を、本校の茶道部が、帯広三条高校と芽室高校の茶道部と合同でzoomを利用して行いました。コロナ禍において、工夫して教育活動を継続しようとしたことの成果の1つを生かした活動でした。





地域とともに

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

Tel 01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→



【令和5年度の指導上の重点目標】

1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。

2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

高校生議会の一環として大樹町議会を傍聴

令和5年6月8日(木)、本校の3年生が、大樹町議会を傍聴しました。大樹町議会と大樹町教育委員会の御協力で、3年ぶりの実施となりました。高校生議会のプログラムのうちの最初の時間で、大樹町のスクールバスで学校から議会へ向かい、本物の議会を傍聴しました。写真は、議会前や控え室での様子です。実施後のレポートからは、様々な面から自分ごととしての考えが見られました。

【実施後の感想の一部】

- 傍聴して、議会では、シンプルかつ大樹町の様々な人の思いを大切にしていることが分かりました。公園1つにとってもたくさんの人が関わり、考えてくれていることが分かりました。
- 普段何気なく過ごしている大樹町には、多くの大人が関わっていて、少しでも早く大樹町を盛り上げようと多くの課題について議論している様子を見て、今よりももっと感謝すべきということと、私たちにも何かできないかという気持ちになりました。
- 傍聴前のイメージと違い、全員同じ高さに席があり、同じ目線で議論していた。1つのテーマから何が必要か、どんな人に協力してもらいどういう取組をするのか、何度も質問・回答を繰り返して町づくりしていく様子が自分たちが探究で取り組んでいる活動と似てるなと思った。





地域とともに

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

Tel 01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→



【令和5年度の指導上の重点目標】

1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。

2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

食の国際交流を実施しました

6月8日、3年生選択科目「フードデザイン」において、北海道教育委員会のALTのアニーさん(英国出身)、大樹町教育委員会のALTのキアンティさん(米国出身)の2人が来校し「食文化」をテーマに交流しました。

生徒からアニーさんとキアンティさんへプレゼンテーションを行いました。5グループに分かれて、日本の料理(郷土料理、和菓子など)、食事作法、文化、大樹町のことや大樹高校のこと、学校給食のこと、そしておもしろかったのは方言(北海道弁)まで、アニーさんにたっぷり日本の良さ、おもしろさを紹介しました。クイズを考えて出題したグループがあり、ALTの近くの生徒がALTに解説していた姿が印象に残りました。





地域とともに

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

HPのQRコード→

Tel 01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>**【令和5年度の指導上の重点目標】**

1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。

2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

地域の子育て支援について考える授業を実施しました

6月22日(木)、3年選択科目「子どもの発達と保育」において、大樹町子ども食堂「たいき食堂おかわり会」の代表を務める松本さん、運営に携わる五十嵐さんをお招きして座談会を行いました。

お二人からは、設立しようと思ったきっかけ、設立までの道のり、関わってくれた人たちへの感謝の気持ちが話され、「何もないところからの立ち上げは苦労も多かったが、それを乗り越えるために運営スタッフみんなで頑張ったことは楽しかった」など、たくさんのことが語られました。

それに対して生徒からは、「地域のために奮闘する方々のお話に感動した」「設立後に多くの方々が食材の提供や寄付などをしてくれるお話を聞き、大樹町の良さに気づきハッとした」などの感想が述べられました。

最後に、松本さんから「やろうと思えば何でもできる!頑張って!」とエールをいただきました。お忙しい中お越しいただき、大変貴重なお話をありがとうございました。





地域とともに

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

Tel 01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→



【令和5年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

探究成果発表会を実施しました

7月19日(水)10:05~11:50、本校体育館において、3年生が「総合的な探究の時間」で見たり聞いたりして調査した内容をもとに、自分の考えの変化や未来への提案などについて発表しました。

当日は、黒川町長、全ての大樹町議会議員、大樹町役場、大樹町教育委員、探究活動で協力いただいた企業、保護者の方々などにも来校いただき実施することができました。

高校生の目線から、各グループの調査や思考の変遷などが発表され、非常に面白い内容となっていました。

来校の方々には、それぞれの発表について、よかったところや改善すべきことの記載に協力いただきました。

生徒は、それぞれのタブレットから、意見や感想を記入しました。

今回の取組は、10月に実施予定の大樹町議会と連携して実施する高校生議会につながる予定です。

発表者と発表内容

1. スポーツで大樹町を発展させたい

発表者：青木 悠斗

若者が楽しめるスポーツ施設を作りたいという思いからスタート。活動を進めるうちに今あるスポーツ施設をもっと使ってほしいと思うように。みんなが楽しめるスポーツイベントの企画を検討しました。

2. SNSで大樹町を発展させるには？

発表者：工藤 京輔・村木 陸

大樹町の観光PRをテーマに活動。他の市町村のSNS発信などの事例収集や、大樹町のおすすめスポットを調査。タクシーの運転手がおすすめるスポットなども聞き、おすすめるドライブコースもまとめました。

3. 大樹町の食を全国的に広める

発表者：上田 瑞姫・鎌田 心菜・松田 玲奈

大樹町の食、特に酪農をテーマに魅力を伝えることをテーマに活動。実際に町内の牧場を訪れ、その牧場の食材を使った新商品の開発にチャレンジしました。

4. 大樹町の特産品とは？

発表者：千葉 弥生・廣瀬 芹菜

大樹町の特産品を多くの人に知ってもらうことをテーマに活動。町内でアンケートをとり、大樹町といえばの特産品を調査。道の駅で知ってもらうためのPOP制作に取り組みました。

5. 子どもたちの室内の遊び場

発表者：荒城 菜大・加藤 拓磨・杉村 柊太

子育て世代が集まれる室内の遊び場をテーマに活動。実際に子育て世代のお母さんたちに意見を聞き、町の担当者や意見交換を実施。今後、町の動きとして実現できることや課題についてまとめました。

6. 集まって遊ぼうぜ！集まるってどこに？

発表者：道見 篤・橋間 悠哉・藤原 秀典

中高生が町内で集まれる場所づくりについて活動。中高生が普段集まる場所のアンケートをとり、ニーズを調査。主にコスモールの活用について自分達のアイデアをまとめ、提案にいきました。

7. 中高生が集まる交流場所をつくる

発表者：上野 千夏・大木 愛菜・加藤 鈴音・木戸 稚彦

高校生が町内で集まれる場所づくりについて活動。町内のカフェや、コワーキングスペースなどを見学に行き、高校生が集まるうえでそれぞれの場所のメリットやデメリットについて整理しました。

8. 大樹の海の問題を知っていますか？

発表者：小川 颯乃花・鈴木 瑞清

大樹町の赤潮の被害をテーマに活動。漁業組合の方にお話しを聞き、自分達にできることを考えました。海の問題を知ってもらうため、ポスターを制作。より多くの人に海のことを知ってもらう方法を提案します。

9. 歩きやすい道をつくるためには？

発表者：木村 心享・濱名 佳奈・星久保 友里亜

みんなが歩きやすい道をつくる。をテーマに活動。町内の道路を管理している方にお話しを聞き、課題を整理。主に小学生や中学生が通る通学路について実際に歩いて危険マップを作成しました。





地域とともに

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

HPのQRコード→

Tel 01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

【令和5年度の指導上の重点目標】

1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。

2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

小学校のチャレンジ・スクールに参加しました

夏休み初日の7月25日(火)から27日(木)の午前8:45~10:30、大樹町教育委員会社会教育課が主催する、大樹小学校児童の学習をサポートするチャレンジスクールに、本校の7名の生徒が参加しました。

非常に暑い教室で、大樹小学校の先生方とともに、児童が夏休み中の課題への取組で分からないところを教えてあげたり、採点をしたりしました。

3日目の終了後、大樹町教育委員会の沼田教育長から、生徒たちに教育という仕事についてのやりがいと教員を目指してほしいとのメッセージをいただきました。生徒からは、「当たり前だと思っていた基本的なことをどう教えたら伝わるか、非常に難しい」「子どもたちから、先生と呼ばれるのがうれしい」「3日間で終わるのは名残惜しい」「改めて教えることが好きなことが分かった」「子どもたちが素直であることがうれしいことだと分かった」などの感想がありました。

いい表情で児童に対応していましたし、冬休み中にも実施されることを知り、「また来るからね」という生徒の姿が印象的でした。





地域とともに

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

Tel 01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→



【令和5年度の指導上の重点目標】

1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。

2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

大樹町の商工会青年部の夏まつりに参加しました

夏休み中の7月28日(金)・29(土)の2日間、大樹町の商工会青年部が毎年実施している夏まつりに本校の有志が出店しました。

商工会青年部から本校の生徒に、会場にきている子どもたち向けの企画を考えてほしい旨の依頼があり、青年部の方々と生徒が検討し、ヨーヨー釣りの縁日、ヤンニョムチキン、チーズハaddockやイチゴ飴などの販売をしました。



第32回大樹町歴舟川清流まつりに参加しました

夏休み中の8月6日(日)11:00~20:30、大樹町と大樹町観光協会が主催する清流まつりに本校3年生の有志とダンス部が参加しました。

清流まつりは、日本一きれいな川として何度も選ばれている大樹町自慢の歴舟川と、その自然の中で夏を楽しむことを目的に行われる1日限定のまつりです。

多くの飲食店が出店する中、大樹高校の総合的な探究の時間で、地元の食材を利用した商品開発をしたグループが、開発した商品の販売を手伝いました。

また、ダンス部がステージでキレイなダンスを披露しました。ステージの強度と広さの関係で1曲だけの披露でしたが、素晴らしいパフォーマンスでした。





地域とともに

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

HPのQRコード→

Tel 01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

【令和5年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

生と性に関する講演会を実施しました

8月24日、生と性に関する講演会「多様な性を知ろう・考えよう」を実施しました。講師として、にじいろほっかいどう事務局長の真田陽氏をお招きしました。真田氏は、小学校教員として働いており、自らもトランスジェンダー当事者として、自身の経験に基づいて多様な性についてお話しをしてくださいました。

この学習を通して、人には様々な違いがあることを知り、自分と他者で「ちがうこと」「おなじこと」は何かを考えることができました。多様性を尊重し、一人一人が幸せに生きることができる社会の実現のために何が必要なのかを、それぞれが深く考えるきっかけとなった大変貴重な講演会となりました。



オープンハイスクールを実施しました

8月30日(水)に南十勝の中学生・保護者・中学校教員を対象に、オープンハイスクール(1日体験入学)を実施し、おおよそ100名の参加がありました。

学校説明では、学校長から来年度からはじまる新学科について、また、生徒から行事や部活動、学習、進路活動等について説明しました。

生徒一人ひとりを大切にし、個々の進路希望に応じて熱心に指導するという大樹高校の取り組みが、多くの来校者に伝わったと思います。また、授業見学や体験授業をとおし、大樹高校の雰囲気や魅力を感じ取っていただけたと思います。

今年度のオープンハイスクールは終了しましたが、「授業を見学したい」「大樹高校の取り組みが知りたい」という中学校関係者の方がおりましたら、本校教頭までご相談ください。





地域とともに

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

HPのQRコード→

Tel 01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>**【令和5年度の指導上の重点目標】**

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

2学年就職ガイダンスを実施しました

9月5日、2学年で「就職ガイダンス」を実施しました。

「社会人に求められるスキルは何か?」「自分のアピールポイントはどんなところ?」など、キャリアデザインをテーマに、自分自身の将来と向き合う、大変充実した時間となりました。

授業の最後には、仲間とペアを作ってミニ面接練習を実施し、話す側も聞く側も、表情や作法に気をつけながら活動しました。

9月7日には体験型進路ガイダンスが予定されています。さまざまな視点から学び、たくさん迷いながら自分自身の可能性を広げていってほしいと思います。



「ふまねっと」体験学習

9月6日(水)、2年生選択科目「生活と福祉」の授業で、大樹町社会福祉協議会で介護予防教室の1つとして実施している「ふまねっと」に生徒が参加し、体験学習を行いました。普段、高齢者の方と接する機会が少ない生徒たちが、これまでほとんど経験のない「ふまねっと」(北海道教育大学釧路校で開発された50センチ四方のマス目でできた大きな網を床に敷き、この網を踏まないようにゆっくり慎重に歩く運動のこと)を通して、交流・体験をしました。

戸惑いながら、照れながら、サポーターの方の説明を聞いて一生懸命ステップを踏む生徒たち。高齢者の方は、高校生から若いエネルギーをもらい、高校生は、高齢者の方から人生の積み重ねの大切さを教わりました。お互いに、良いエネルギーを与え合うことができたとても充実した時間となりました。





地域とともに

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

Tel 01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→



【令和5年度の指導上の重点目標】

1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。

2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

体験型進路ガイダンスを実施しました

9月7日、1・2学年を対象に、大樹町生涯学習センターにて「体験型進路ガイダンス」を実施しました。

およそ30の各種専門学校を招き、ブースに分かれて仕事に関する説明を聞き、体験する機会となりました。

足首の応急措置を体験したり、はらぺこあおむしを画用紙で作成したり、クレープをつくったり、時間の関係で生徒1人につき2つのブースしかまわることができませんでしたが、それぞれ積極的にメモを取ったり、実習に集中したりしている姿が印象的でした。今回感じたことや学んだことを、今後進路を考える際のよい材料にしてほしいと思います。



保育座談会を実施しました

9月11日(月)に、1学年家庭基礎で保育についての座談会を実施しました。子育て中のお母さんたち5名に来校していただき、妊娠や出産、子育てに関する様々なエピソードやその時に感じたことなどをたくさんお話ししていただきました。何事もなくすんなりと子育てをされている方は一人もいなく、むしろそれが普通であること、山や壁をたくさん越えるお話しは、生徒一人一人の心に響いたことでしょう。生徒たちからたくさんの質問が出て、時間が足りないくらい充実したものとなりました。

将来、子育てをするかもしれない生徒たち。様々なことを考え、感じたことでしょう。お母さんたち、お忙しい中ありがとうございました。





地域とともに

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

Tel 01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→



【令和5年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

台湾見学旅行に向けて「たいわんDAY」の2回目を実施しました

9月26日、2学年の10月17日から実施予定の台湾への見学旅行に向けて、2時間目～6時間目を通じて、台湾に関する理解を深める授業をたくさん盛り込んだ「たいわんDAY」の2回目を実施しました。

2時間目「英語×台湾」



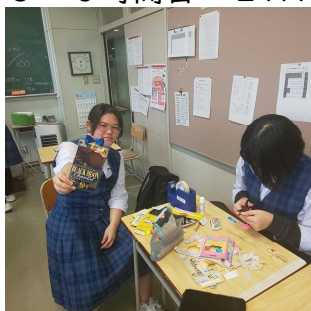
大樹町A.L.Tのキアンティさんと、「入国審査」のシュミレーションをしました。ペアになり、質問される内容や答え方を確認し、実際に声に出してみます。当日きちんと入国できるでしょうか、学びを生かしてほしいです。

3・4時間目「調理実習×台湾」



台湾の代表的な料理の一つである「ルーローハン」。帯広調理師専門学校から講師の先生をお呼びして、調理にチャレンジしました。独特な香りのする香辛料、「五香粉」をまぶしていただきます。美味しいと大好評でした。本場の味が今から楽しみです。

5・6時間目「LHR×台湾」



現地でお世話になる大学生に向けて、お土産づくりを行いました。内容は、お菓子のパッケージなどをリメイクしたストラップや、しおりです。本来であれば捨てられてしまう素材ですが、かわいい印刷も多く、日本を感じてもらえる表示がたくさん…。心をこめて作成しました。



地域とともに

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

TEL 01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→



【令和5年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

外部講師を招き高齢者について学びました

1年生の「家庭基礎」で高齢者について学習しています。今回は外部講師による授業の様子をお伝えします。

9月25日(月)、大樹町役場保健福祉課より講師をお招きして「認知症サポーター養成講座」を開催しました。認知症の特徴や関わり方などについてお話を聞きました。



また、9月27日(水)、帯広コア専門学校介護福祉科専任講師をお招きして、介護のポイントと実習を行いました。



講師の方々には、限られた時間の中で、生徒に体験的な学びも交えて、講話をいただきました。ありがとうございます。
共生社会につながるとも重要な学びになりました。

講師の方からのメッセージ

生まれてから死を迎えるまでに、福祉を必要としない人はいません。あなたが困ったときには、かならず支えてくれる人がいます。一人で悩まずに誰かを頼ろうね。



地域とともに

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

HPのQRコード→

Tel 01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

【令和5年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

合唱祭を実施しました

10月6日、大樹町生涯学習センターのコスモスホール（大ホール）にて、大樹高校の学校行事である「合唱祭」を実施しました。

課題曲として「瑠璃色の地球」、自由曲として各学年で選択した合唱曲を披露しました。それぞれの学年で試行錯誤しながら練習を重ね、素晴らしい歌声をホールで響かせることができました。御来場頂いた皆様、ありがとうございました。



1年A組 自由曲「チェリー」



2年A組 自由曲「創聖のアクエリオン」



3年A組 自由曲「遙か」



各クラスの指揮者、伴奏者の生徒たち

チーズについて学びました

10月10日、3年生選択科目「フードデザイン」でチーズをテーマにした講座を行いました。これは、雪印メグミルクで行っている出前講座を活用した授業です。

世界や日本のチーズの歴史やチーズの作り方、栄養などについて講話いただき、更には9種類のチーズの食べ比べも用意されており、大変充実した講座でした。

地元大樹工場で作られているさけるチーズの紹介もあり、改めて地元にある企業について知り、大樹町の素晴らしさを感じた授業となりました。大樹工場には卒業生が勤めており、地元企業に貢献しています。





地域とともに

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

HPのQRコード→

Tel 01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>**【令和5年度の指導上の重点目標】**

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

保育園実習を実施しました

10月12日、3年生選択科目「子どもの発達と保育」にて保育園実習を行いました。これは、大樹町の認定こども園に御協力いただき実施しています。

生徒達が考えた遊びをとおして園児と交流し、子どもの発達や特徴について体験をとおして学ぶ機会となっています。

今回は、ハロウィンをテーマにして仮装をし鬼ごっこをしたり、カード合わせゲームをしました。ハロウィンの仮装は、ゴミ袋を利用して、あらかじめ用意した目や口のパーツを子供たちが自由に貼って完成させる工夫をしました。自分で完成させた「おばけ」に大盛り上がりの子供たちを見て、高校生も充実感と満足感でいっぱいでした。

実習を受け入れてくださった認定こども園の関係者の方々、お忙しい中ありがとうございました。





地域とともに

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

HPのQRコード→

Tel 01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>**【令和5年度の指導上の重点目標】**

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

「おやじの会」との座談会を実施しました

10月25日、3年生選択科目「子どもの発達と保育」にて「おやじの会」の会員の方との座談会を実施しました。「おやじの会」とは、「子どもの成長をしっかりと見届けたい」、「子どもとの時間を大切にしたい」、「子どもに色々な経験をさせたい」という強い思いをもったお父さんたちで結成されている活動グループです。

毎週月曜日を活動日とし、お父さんと子どもたちで野球やサッカー、季節に合わせて川遊びや森の散策、焼き芋などたくさんの遊びを用意して楽しい時間を過ごしているそうです。

そのメンバーの方々から、活動内容はもちろん子育ての楽しさや大変さ、親としての思いや希望など、たくさんのお話を聞くことができました。生徒たちからは、「子育ては母親がするものという意識がまだ強く残っているので、おやじの会の方の考え方はとても新鮮だった」「近頃は公園で遊んでいる子どもの姿を見ることが少ないので、大人と子どもが外でおもいっきり遊ぶことはとても大切なことだと感じた」など感想を述べていました。

お忙しい中、勤務を調整してくださりご来校いただきまして、誠にありがとうございました。





地域とともに

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

HPのQRコード→

Tel 01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

【令和5年度の指導上の重点目標】

1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。

2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

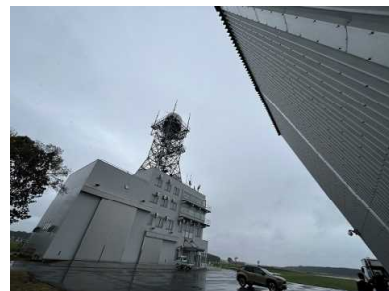
インターステラテクノロジーズ (IST) の工場見学、JAXA講座を実施しました

10月17日と20日、大樹町宇宙交流センター「SORA」にて、1学年を対象としたIST工場見学をJAXA講座を実施しました。

大樹町でなぜロケット開発が行われているかなどについて講義を受けた後、ロケット発射場に移動し、燃焼実験施設や実際にロケットを打ち上げる場所を見学しました。

また、JAXAから航空技術部門の富田様を招いて、衛星測位や気球実験について講義を受けました。実際に実験で使われた気球に触る機会があり、生徒からは「これで飛ばすんだ」などと驚きの声が上がっていました。

その後、JAXA実験場に移動し、格納庫を見学しました。雨天のため、飛行管制塔の見学は叶いませんでしたが、想像以上の大きさがある格納庫を見る貴重な機会でした。



インターンシップを実施しました

11月9日・10日の2日間、1学年を対象としたインターンシップを行いました。

インターンシップ当日、巡回で訪れた事業所の方からは「元気で楽しそうにやっていますよ」などといった、明るい話しをお聞きすることができました。学校では見られない姿をたくさん見ることができ、生徒の意外な一面を知ることができました。

今後は、12月7日実施予定のインターンシップ報告会に向けて、得た知識・感じたことをまとめていきます。





地域とともに

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

HPのQRコード→

Tel 01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

【令和5年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

2学年台湾見学旅行報告会を実施しました

11月17日(金)、5,6時間目に「2学年見学旅行報告会」を実施しました。

台湾見学旅行での取り組みについて、各班で資料を作成し、本校体育館で報告を行いました。

「台湾に行くことができてよかった」、「海外を知ることで、普段当たり前だと思っている日本のよさを改めて実感した」、「大学生と言葉の壁を越えてたくさん交流できた」など、海外研修を経験して感じ取ったことを、生き生きと発表してくれました。

4月当初は、「海外に行くのは怖い・・・」という声もありましたが、見学旅行までにさまざまな教科を通じて事前学習として台湾について学び、自分たちの行く場所に対して真剣に調べ、学習を進めることで、少しずつクラスのまとまりを深めながら見学旅行へと気持ちを高めていくことができました。

見学旅行実施にあたり御協力をいただいたすべての方に、この場をお借りして御礼申し上げます。

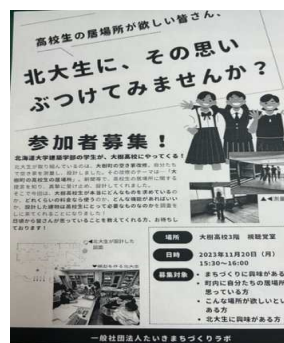


北海道大学建築学部の学生が来校しました

11月20日(月)15:30、北海道大学建築学部の学生が本校に来校しました。来校した学生の所属する研究室は松島准教授のスタッフと学生15名が来ました。目的は、大樹高校生から高校生の現状や意見を聞くことでした。右の一般社団法人たいきまちづくりラボ(以下、まちづくりラボ)が作成したリーフレットで参加生徒を募集したところ、3年生は2名、1年生は2名、合計5名が本校から参加しました。

今回の北海道大学生の来校のきっかけは、3年生が実施した地域探究活動の発表会での3つの班のテーマ「大樹町の高校生の居場所づくり」が新聞報道されたことです。このことを大学生が真摯に受け止め、「高校生の居場所」を設計したとのことでした。

北海道大学建築学部と結び付けたのは、たいきまちづくりラボです。彼らは大樹町の空き家改修に取り組んでおり、本校来校前に、大樹町に出向き、模型と図面などを示したボード複数枚でプレゼンテーションをしてきたそうです。現在、大樹町の町づくりに役立てるために1つの空き家の改修だけではなく、町づくりに役立つ発想とするために大樹町の課題を把握して、その解決策を提案していました。





地域とともに

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

HPのQRコード→

Tel 01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

【令和5年度の指導上の重点目標】

1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。

2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

ふれあいカフェ 交流学習

11月27日、大樹町福祉センターで月に1度開催されている「ふれあいカフェ」に、家庭科目「生活と福祉」選択者10名が訪問し交流を深めました。

科目「生活と福祉」では、主に高齢者とその福祉について学んでおり、これまでに「ふまネット」の見学や、認知症サポーター養成講座を受講するなど関連機関と連携をとって学習を進めてきました。

今回は、「ふれあいカフェ」にて自分達が考え準備したレクリエーションを共に楽しむという企画でした。高齢者の身体的・精神的特徴などをふまえ、参加者の方々が楽しくて元気になれる内容を考えました。

お別れの挨拶をすると、「また来てね!」「1回で終わったらダメだよ～」と声をかけていただき、とても嬉しく思いました。

机上で学んだことを実際の場面で使ってみる、生かしてみるというとても貴重な学習の場となりました。高校生もとても楽しい時間となりました。ありがとうございました。



神経神経衰弱を楽しんでいられる様子
「なかなかあたらないねえ」

ボウリングのピンを、ボールで倒す。上手い人、上手い人。



連想ゲーム 3つのヒントから答えを考えます。問題がよく聞き取れない方にはサポートをしました。



地域とともに

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

HPのQRコード→

Tel 01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>**【令和5年度の指導上の重点目標】**

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

高校生による小学生への授業（小学校と高校の連携）

12月13日(水)、大樹小学校の3年生の社会の2クラスの授業で、本校3年生3名が、地域探究学習で作成した大樹町内の「キケンマップ」の取組について説明しました。

町役場に調査や提案を行ったり、町を実際に歩いて調査したり、「キケンマップ」としてまとめたものを町役場に持参して協議したり、大樹町高校生議会において、町長に危険箇所の改修とLED街灯の整備を訴え町長から危険なところから順番に整備するとの答弁をもらったしたことなどを説明しました。

児童はその後、3・4人のグループに分かれて、「キケンマップ」と高校生の説明を元に、改めて危険なところを出し合い、そのグループ協議に高校生も参加し、「キケンマップ」がさらにバージョンアップしていきました。

本校生徒は、小学生に分かりやすく説明するために準備し、説明がしっかり伝わったことも授業中に感じる事ができました。また、小学生の目線での危険な箇所がさらに追加された「キケンマップ」ができあがり、小学生と高校生の協働により、新たなものが作られた授業になりました。





地域とともに

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

Tel 01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→



【令和5年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

冬休み期間中の高校生ミドルティーチャーに参加しました

冬休み期間中の12月25日(月)から27日(水)の午前中、大樹町教育委員会の社会教育課が企画した、自主的に登校した大樹小学校の児童の冬休みの勉強のお手伝いをする「高校生ミドルティーチャー」に、本校の杉森さん、北村さん、松橋さん、野村さん、横山さん、工藤さんの6名が参加しました。



「探究チャレンジTokachi」に参加しました

1月17日(水)13:00から、北海道教育委員会十勝教育局がzoomを活用して主催し、十勝管内の公立高校17校が発表する「探究チャレンジTokachi」に、本校を代表して、上田さん、松田さん、鎌田さんのグループが発表しました。



「大樹町の食を全国に広めたい」と題して、地域探究学習において坂根牧場さんの協力を得てハンバーグドックを開発するまでの検討や苦労、歴舟川清流まつりで販売したこと、高校生議会で大樹町の食を広めるための提案したなどの取組を発表しました。





地域とともに

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

HPのQRコード→

Tel 01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

【令和5年度の指導上の重点目標】

1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。

2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

北海道科学大学の教授による出前授業を実施

1月23日(火)の5・6時間目、2学年の生物基礎の時間において、北海道科学大学の金澤教授による出前授業を行いました

カラスやロウソクの実験の動画や「アオギリ」「オオバボダイジュ」の実物による観察、リンゴやバナナなどを使った実験などを活用し、金澤教授から提示された問いに自分で考えて理由とともに仮説を立て、解説をきくというサイクルが繰り返されました。生徒は集中して授業を受けることができ、理科の見方・考え方が自然と身に付けることができたと思います。



卒業生講話を実施しました

1月25日(木)5時間目の3年生のフードデザインの授業において、皆さんの先輩に当たる、北海道ホテルに勤務の木戸友季栄(ゆきえ)さん(平成29年度卒業)とカレーショップインディアンに勤務の石橋亜美さん(令和2年度卒業)の2人から、卒業生として講話をしていただきました。

「今を大切に生きる」「あいさつと言葉遣いをちゃんとできるようになる」「たくさんの資格を取るべき」などの3年生へのメッセージや、「前回に作ったものより、よりおいしく、よりきれいにする」「接客は簡単なようで難しい。接客が悪いと、調理をした人や食べるお客様に失礼となる」など、自立した社会人としての志が語られ、卒業を控えた3年生にとって、よい話をいただきました。

後半は、パティシエの実際のケーキ作りを実演していただき、プロの技を見ることができました。





地域とともに

北海道大樹高等学校
〒089-2155 広尾郡大樹町1番地
Tel.01558-6-2063、6-2868
ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→



【令和5年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

小学生との交流

2月3日(土)本校クッキング部による「恵方巻き作り」講座を実施しました。毎年、小学生を対象として実施しており、1年生から5年生までの参加がありました。

恵方巻きの具材は、その年の部員達が試作を重ねて決定します。今年は、包丁を使わなくても出来る恵方巻きをめざし、チーズやかにかまなどを用意しました。

まずは、高校生が巻き方のお手本を示し、その後小学生達もチャレンジしました。「あわてずにゆっくりと巻くときれいに巻けるよ」と高校生からアドバイスもらった児童達は、とても上手に仕上げていました。大人から学生へ、学生から児童へ。そして、学生が大人になり家庭を持ち、その子どもへ。こうして日本の食文化が受け継がれていくのです。



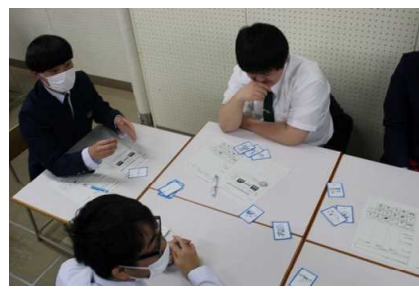
2学年 SDGsワークショップ

2月5日、2学年を対象に「SDGsワークショップ」を実施しました。講師として、JICA帯広の野々垣 真美さんをお迎えし、「Think Globally, Act Locally」をテーマに学びを深めました。

「SDGsの考え方の基本」を学んだ後、「それぞれの国が持つ得意」を集め、協働しながら課題解決のために行動していくことの大切さを、カードゲームを通じて考えることができました。

さらに、授業の後半では身近な大樹町の課題や魅力、さまざまな資源(ひと、もの、場所)についてアイデアを出し合いました。

今後、地域探究を通じ地域の課題に挑んでいく生徒達にとって、学びの多い時間となりました。





地域とともに

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

Tel 01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

HPのQRコード→



【令和5年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

そば打ち体験

2月22日(木)、1学年の科目「家庭基礎」にて、そば打ち体験授業を行いました。そば作りを体験することにより日本の食文化への理解を深めること、また、ALTのアニーさんと一緒に参加することで異文化交流もねらいの一つと設定し実施しました。

大樹そば作り研究会の方3名に講師を務めていただきました。そば粉100%で加えるのは水だけというこだわりのそば。作業の手際の良さ、美しさに感動する生徒たち。あっという間にのし麺ができあがりました。それを切るのは生徒たち。切り方を教わったものの初めて握る専用包丁の使い方に悪戦苦闘。とても太い麺ができたり……。打ちたて麺は、とてもおいしく、多めに用意した麺は足りないくらいでした。たくさんのおかわりもあり、生徒たちは大喜びでした。

最後に、そば作り研究会の説明があり、早速2名の生徒から入会の意思表示がありました。こうして日本の食文化が受け継がれていくのです。

研究会のみなさま、お忙しいところお越しいたきましてありがとうございました。



第74回卒業証書授与式

3月1日(金)、第74回卒業証書授与式が本校体育館で挙行されました。

保護者、来賓、在校生、教職員が見守る中、3年生23名一人ひとりに卒業証書が授与されました。

凜とした雰囲気の中、3年生は大樹高校生として立派な姿で式に臨んでいました。式歌斉唱では思わず涙を流す卒業生の様子も見られました。

最後のホームルームでは、担任、生徒から3年間で振り返り一人一言ずつ挨拶がありました。卒業生が話している姿を見て、3年間の学校生活をひたむきに送り、大きく成長したことを実感することができました。

